



西塚泰美先生の御経歴（〈特集I〉西塚泰美元学長を偲んで）

(Citation)

神戸大学医学部神緑会学術誌, 21:47-48

(Issue Date)

2005-08

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/81007861>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81007861>



特集 I ——西塚泰美元学長を偲んで

西塚泰美元学長を偲んで



西塚泰美先生の御経歴

1932年 7月12日	父西塚泰順，母延子の次男として芦屋で生まれる	1964年 4月	京都大学医学部医化学講座助教授昇任
1933年 4月	父泰順が満州奉天医科大学へ産婦人科教授として赴任の為，奉天（現在の瀋陽）へ移住	1964年 7月	米国ロックフェラー研究所に留学（1年間）
1936年 4月	父泰順満州奉天医科大学を辞して帰国，再び芦屋に住む	1965年 2月	長女誕生
1937年 4月	父名古屋市内に就職，名古屋に転居	1967年10月	次女誕生
1939年 4月	白壁尋常小学校へ入学，小川尋常小学校へ転校，私立汐路国民小学校へ転校（小学3年生）	1969年 1月	神戸大学医学部教授就任
1945年 3月	汐路国民小学校を卒業	1980年11月	生物科学総合研究機構教授（基礎生物学研究所）（併任）
1945年 4月	昭和中学へ入学，昭和中学が途中より昭和高校に改称，学校区が設定され近くの瑞陵高校に移る	1981年 4月	岡崎国立共同研究機構教授（基礎生物学研究所）（併任）（1985年3月まで）
1951年 3月	瑞陵高校卒業	1989年 4月	神戸大学教授（理学部）（併任）（1992年3月まで）
1951年 4月	京都大学農学部入学	1989年 9月	母死去
1952年 4月	工学部に転科	1992年 6月	神戸大学バイオシグナル研究センター長（1995年2月まで）
1953年 4月	医学部に進学	1994年 4月	京都大学ウイルス研究所教授（併任）（1995年2月まで）
1957年 3月	医学部卒業	1995年 2月	神戸大学長（2001年2月まで）
1957年 4月	京都大学医学部付属病院実地修練生，翌年医師国家試験に合格	1995年 2月	神戸大学医療技術短期大学部学長（併任）（1998年3月まで）
1958年 4月	京都大学大学院医学研究科入学，医化学講座（早石教授）	2001年 2月	神戸大学名誉教授 神戸大学バイオシグナル研究センター名誉センター長
1959年 4月	父死去	2001年 4月	兵庫県成人病センター総長，日本学術振興会学術顧問就任
1962年 3月	大学院修了	2001年 8月	セント・キャサリンズ・カレッジ（オックスフォード大学） 神戸インスティテュート理事長
1962年 4月	京都大学医学部医化学講座助手	2001年 9月	シスメックス株式会社名誉顧問
1963年 5月	結婚	2004年11月4日	くも膜下出血にて御逝去

【国内賞受賞】

1965年12月 アーヴィン・フォン・ベルツ賞
1975年12月 松永賞
1982年11月 武田医学賞
1984年11月 井植賞
1986年1月 朝日賞
1986年5月 神戸新聞平和賞
1986年6月 日本学士院賞
1987年10月 兵庫県科学賞

【国際賞受賞】

1988年6月 スローン賞（米国癌研究賞）
1988年10月 ガードナ賞（カナダ医学生理学賞）
1989年9月 ラスカー賞（米国医学生理学賞）
1992年5月 プレメンダル賞（オランダ生理学賞）
1992年11月 京都賞（基礎科学部門）
1994年3月 デールメダル（英国内分泌学会賞）
1995年3月 ウォルフ賞（イスラエル国家賞・医学）
1995年5月 ディアズ賞（スペイン医学生理学賞）

1995年9月 シェーリング賞（ドイツ医学生理学賞）
1996年5月 パナジーメダル（インド・アジア協会賞）

【顕彰等】

1987年11月 文化功労者顕彰
1988年11月 文化勲章受章

【学士院・アカデミー会員】

1988年4月 米国科学アカデミー会員
1990年6月 英国学士院（王立協会）会員
1991年12月 日本学士院会員
1992年3月 仏国科学アカデミー会員
1992年4月 米国芸術・科学院名誉会員
1993年8月 スペイン王立科学アカデミー会員
1994年4月 独国自然科学アカデミー会員
1995年12月 インド王立アジア協会名誉会員
1998年3月 第三世界連合科学アカデミー会員